

高山の魅力

佐久間 朝弓

10月6日に山形県の天元台高原探鳥会に参加しました。リフトに苦手意識がありましたがイワヒバリに会いたくて参加を決めました。

裏磐梯から西吾妻スカイバレーを通ります。どんどん標高が上がっていき植生が変わっていくのが楽しいです。山形県に入った頃に道路でグルーミングをし合うニホンザルの群れに出会いました。子猿もいました。こちらを気にすることなくくつろいでいて微笑ましかったです。天元台高原ロープウェイ湯元駅の駐車場は既に8割ほど埋まっています。県外ナンバーの車も多く吾妻連峰の人気を感じました。



緊張しながらもロープウェイと3基のリフトに乗りました。紅葉や高山植物を見て、澄んだ空気で深呼吸することでリラックスできました。「ツイー」と鳴きながら大型ツグミが飛んでいきました。リフトを降りると標高は1820mです。霧雨が降り景色は見づらく、連日の雨で登山道は泥々で登山には悪条件でした。滑りそうな場所は声かけしあい、協力しながら登りました。

私はツガやシラビソの立ち枯れ木、それに苔やきのこがついたような景色が好きで、とても楽しめました。また時折の晴れ間のおかげで雨粒がキラキラ輝いてとても綺麗で心が洗われました。広大な雲海にも出会い数歩進んでは写真を撮っていました。その景色の中でカヤクグリやヒガラが鳴くのですから最高です。

標高1940mのかもしか展望台に到着し昼食としました。空き時間で木道まで歩きました。ホシガラス

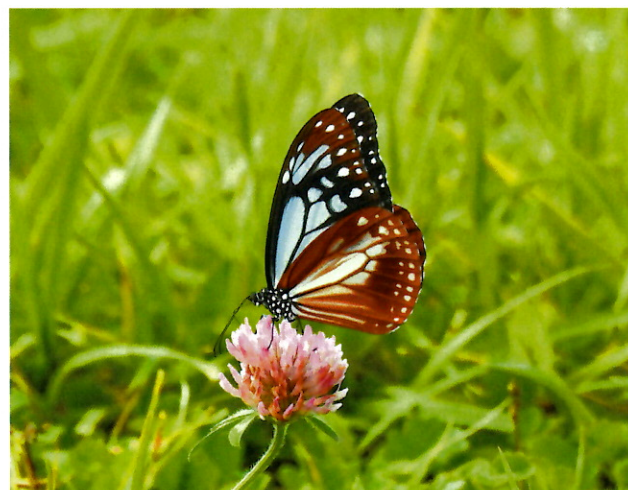
がないか探しましたが会えませんでした。ウグイスが「ジャツ、ジャツ」と鳴いていました。悪天候と悪路のため、これより先には進まず早めに下山することになりました。つま先が痛くならないようトレッキングシューズの靴紐を固く締め下山です。



雨粒が滴る苔とキノコ

鳥の鳴き声が聞こえず黙々と下山していた時「ゼニトリ、ゼニトリ」と聞こえ、「メボソムシクイだ!」とみなさんと喜びました。「あれ?夏鳥ですよ、10月でも高山にいるんですね」「幼鳥がまだ残って鳴いてるのかな」などと盛り上がりました。帰りのリフトではエゾビタキもいたようです。広場にはアサギマダラが一頭舞っていました。みんなで写真を撮りました。帰りのロープウェイは人が多く順番待ちで乗車しました。中は満員でした。どこから来たのか、どこに行ってきたのかなどお話をされていて和やかな車内でした。

結果イワヒバリには会えませんでした。合計18種の野鳥を確認し、みなさんと一緒に共有できたことが嬉しかったです。



旅するチョウ アサギマダラ